

新規採用職員



新採用職員への辞令交付の様子

4月1日付けで笠間市へ採用された職員は37名です。内訳は一般事務職26名、保健師などの技術職6名、消防職5名で、合併以来最多に迫る採用人数となりました。背景には退職者の増加に加え、行政需要が高まっていることがあります。行政の仕事も、継続するには現場で働く職員を確保し、計画的に育てていくことが必要です。

新規採用職員は入庁後、一定の研修を行い、それぞれの課に配属されます。しかし、実際の業務に向き合うと、自分の思いとの違いがあり戸惑うことも少なくありません。それでも日々の経験を重ねることで、1年ほど経つ頃には市役所の仕事の流れを理解し、着実に対応できるようになっていきます。

まずは、市役所全体の仕事を知ることが、成長への第一歩です。

入庁した職員をしっかりと育て一人前にしていくことは、先輩職員の仕事でもあります。人材育成は決して簡単ではありませんが、行政サービスを将来にわたり支えていくために欠かせないことであり、やり遂げることが必要です。職員一人ひとりの資質向上が、行政サービスの向上につながっていきます。

新人職員にエールを。

今月の

Pick up

笠間市が「脱炭素先行地域」に
選定されました！



2050年カーボンニュートラルに向け、家庭、事務所および商業施設などの電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを地域特性に応じて実現する地域として環境省が全国から少なくとも100カ所をモデル地域として選定している「脱炭素先行地域」に、笠間市が決定しました。

提案の内容は、いずれも市を象徴する地場産業の「伝統的工芸品 笠間焼」と「日本一の栽培面積を誇る栗」を地域の脱炭素化との相乗効果により、さらなる発展を目指す計画として、笠間焼の担い手育成や販売促進を促す地域支援エネルギー会社を設立し、地域の脱炭素と産業の振興、地域の活性化につながるものです。

令和3年の「ゼロカーボンシティ宣言」表明、令和6年の「笠間市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」策定などにより、これまでも地域課題の解決につながる脱炭素の取り組みに挑戦し脱炭素先進都市を目指してきましたが、中でも主要な取り組みとする今回の提案が5回目の挑戦でようやく選定に至りました。引き続き、9社・団体の共同提案者の皆さんとしっかり実行する体制を作り、事業を進め、環境対策への取り組みをさらに推進していきます。

提案計画や取り組み内容など詳しくは、19ページ(サステナカサマ)をご覧ください。

問 環境政策課 (内線125)